

チャレンジ・ザ・ドリーム

より有意義な体験にするために、保護者の皆様へのお願い

1 チャレンジ・ザ・ドリームの3つのねらい

多くの大人と触れ合い、コミュニケーション能力や社会性及び思いやりの心育てる。
職場体験で様々な大人の生き方に触れ、自分の将来を真剣に考える機会とする。
望ましい勤労観・職業観を持ち、自分の進路を選択・決定する力を身に付ける。

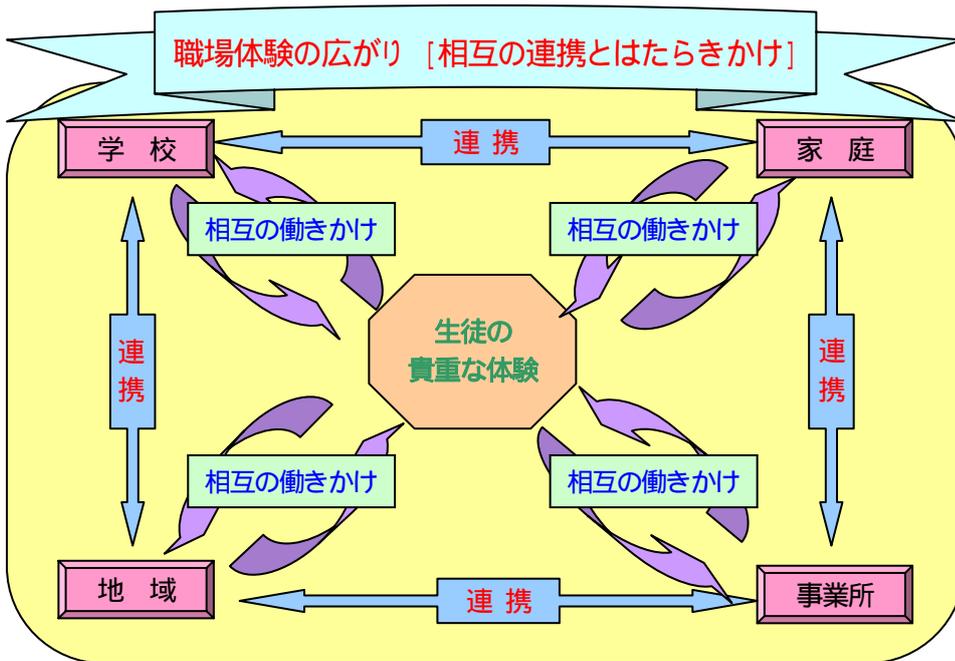
目指すものは

生徒の心の成長を願う取組 <心の教育>



2 チャレンジ・ザ・ドリームと生徒・学校・事業所・家庭・地域の関係

<学校・事業所・家庭・地域の連携が効果を高める、生徒へのはたらきかけが貴重な体験をつくりだす>



* チャレンジ・ザ・ドリームは、事業所・家庭・地域の理解と協力があることでできる教育活動です。

* チャレンジ・ザ・ドリームは、生徒への大人のかかわり方が、その教育効果を高めていきます。

生徒の「人生の財産」となる体験にするために

子どもたちの大人への挑戦を、力を合わせて、正面から受け止めてください

3 チャレンジ・ザ・ドリームの実施内容



生徒の心を成長させる チャレンジ・ザ・ドリームの実施内容

- 実施対象**・・・区内全中学校の2年生対象
- 実施日数**・・・連続した5日間の職場体験(1日7時間程度)
- 実施時期**・・・学校運営上、地域の実情等を考慮して、学校ごとに定める
- 体験内容**・・・製造業、販売業、サービス業、保育所・幼稚園、福祉施設・養護施設、伝統芸能、郷土芸能体験・農業・飼育・造園等の体験活動
- 事故対応**・・・生徒の事故については日本スポーツ振興センターの補償で対応
第三者・器物に対する賠償責任保険については江戸川区教育委員会が加入
- 細菌検査**・・・業務上、細菌検査の必要な事業所には、検査費用を区で負担

4 チャレンジ・ザ・ドリームの実施による期待される効果

期待される生徒の変容

- * 多くの人とかかわることで、コミュニケーションの大切さ、相手の気持ちを感じ取る大切さを身に付ける。
- * 与えられた仕事に真剣に取り組み、成就感や責任感を身に付ける。
- * 自己の適性を知ること、自分の価値を再認識し、今後の生き方について考える機会となる。
- * 社会の一員として大人とかかわる体験をとおして、挨拶・言葉使い等の礼節を身に付ける。

期待される親子関係の変容

- * 職場体験についての家庭での話し合いが、家族でのふれあいや親子のコミュニケーションを増加させる。
- * 働く子どもの姿から、家庭では見ることのできない新たな姿を再発見する機会となる。
- * 働く意義と大変さを感じ取り、改めて親への感謝の気持ちを抱くようになること。

5 チャレンジ・ザ・ドリームの効果を高めるために、各家庭へのお願い

職場体験実施の前に

職場体験の実施にともなう協力のお願い

- ・各学校の実施方法の確認
- ・協力事業所の紹介・開拓への協力
- ・校内推進委員会への協力
- ・体験先の事業所の確認作業
前日などに、電話や手紙で体験先に感謝の気持ちを伝えると、職場の方も家庭の誠意を感じ取り、責任を持って指導にあたってくれます。

子どもへのかかわり方についてのお願い

- ・子どもとの話し合いや職場体験への助言
働くことの意義、親自身の仕事への思い、仕事への心構え、社会人としての資質、社会人のマナー(あいさつ・言葉遣い)
- ・学んでほしいこと、期待することの伝達
- ・社会人の先輩としての励ましの言葉かけ



職場体験実施中

職場体験の実施にともなう協力のお願い

- ・職場巡回への手助け
ワークシート等の点検・記入等、親子の対話のきっかけづくりとなりますので、ご協力をお願いします

子どもへのかかわり方についてのお願い

- ・1日の職場体験についての話し合い
体験内容、聞いた話、ほめられたこと、注意されたこと、感じたこと、学んだこと
- ・明日へのアドバイスと励まし
時間のとれる方は、子どもを働く姿をぜひご覧になってください



職場体験終了後

職場体験の実施にともなう協力のお願い

- ・生徒発表会等への参加
- ・アンケート等の回答の協力
終了後に、体験先に改めて家庭からお礼の手紙や電話などが届くと、教育活動に貢献できたことの喜びを相手は感じることができます

子どもへのかかわり方についてのお願い

- ・頑張った子どもをほめる
- ・5日間で学んだことについて話し合う
体験の感想、仕事の楽しさや辛さ、マナー、働く意義、職業観・勤労観、親の人生観
- ・親子で将来や生き方について話し合う
この先、子どもの夢をどう育てるか、ご家庭でぜひ話し合う場を持ってください。

